

第 13 回サンポートホール高松デビューリサイタル 出演者インタビュー

3月2日(日) 第1部
稲沢 朋華 / ピアノ



<プロフィール>

- ・三豊市出身
- ・香川県立坂出高等学校音楽学科卒業
- ・桐朋学園大学音楽学部 3 年在学中

<プログラム>

- ・絵画的演奏曲「音の絵」Op.39-1 / ラフマニノフ
- ・ピアノソナタ第 21 番 D960 / F.シューベルト

— 「デビューリサイタル」に応募した理由をお聞かせください。

サンポートホールは笑って泣いているんな思い出が詰まった、音楽を本気で勉強すると決意した場所です。先輩方の演奏を聴いて、私もいつか必ずあの舞台上で演奏したいとずっと願っていました。夢が叶い、感謝の気持ちでいっぱいです。

— ピアノを始めようと思ったきっかけをお聞かせください。

母が音楽の先生なのでお家にピアノがあり、幼い頃からよく遊んでいました。いざ本格始動すると無数の試練が待ち受けていて何度今日で終わりにしようと思ったことか・・・笑 今では新しい自分に出会うためのチャンスだと思えるようになりました！

— 今回プログラムの見どころについて教えてください。

ピアノソナタ 21 番はシューベルト最期の作品です。生きたいと願うことがどれほど儚く尊いことか、大切な人たちの幸せを願う気持ち。綺麗ごとではなく、生きるって奇跡の連続で本当に美しいことだと感じさせてくれる作品です。

— 今後、地元香川県でどのような活動をしていきたいですか。

香川の様々な場所で多くの方々に音楽を届けたい！人生をかけた一番の願いです。また同じ志をもつ学生のみなさんの夢を応援できるよう経験を積み、香川に広がる音楽の世界を発展させていきたいです。

— 最後に意気込みをお願いします。

香川のみなさんから大きな愛と音楽に溢れた私の 20 年間の旅。3月2日はアルバムと一緒に開き、感謝の気持ちを込めて、すべての方々にとってすてきな宝物になるような、心温まる音楽をお届けいたします。